

SOLDERING STATION

FX-888DX

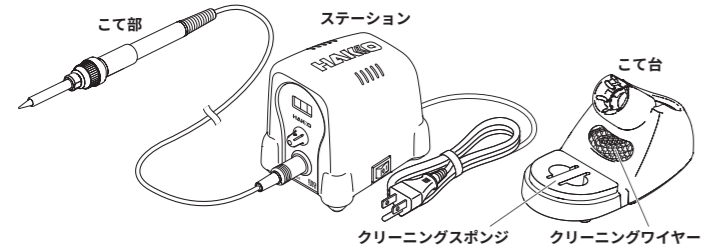
取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本製品はステーションタイプのはんだこてです。
お使いになる前に必ず本書をお読みになり、その後はお手元で大切に保管してください。

1. セット内容と組立て

最初にセットの内容をご確認ください。
※本製品は下記内容と異なる場合があります。

ステーション FX-888DX.....	1	*クリーニングワイヤー	1
*こて部 FX-8801.....	1	取扱説明書 (本書)	1
*こて台 FH-800.....	1	保証書	1
*クリーニングスポンジ	1		



交換部品 / オプションを含む製品情報はwebページでご確認いただけます。
https://www.hakko.com/doc_fx888dx-j

2. 仕様

電源	AC 100 V 50 / 60 Hz
消費電力	100 W
設定温度範囲	50 ~ 480°C (120 ~ 899°F)
リップル温度	±1°C (1.8°F) (無負荷時) (200 ~ 480°C (400 ~ 899°F) の間で設定時)

出力	AC 26 V
外形寸法	100 (W) × 120 (H) × 125 (D) mm
重量	1.2 kg

消費電力	65 W (26 V)	コード長さ	1.2 m
こて先アース間抵抗	<2 Ω	全長	217 mm (こて先 T18-B を付けた場合)
こて先アース間電位差	<2 mV	重量	46 g (こて先 T18-B を付けた場合)
ヒーター	セラミックヒーター		

- 全長と重量はコードを除きます。
- 本製品は静電気対策されています。
- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますが、あらかじめご了承ください。

⚠ 注意

■ 静電気対策品への取扱い注意
本製品は静電気対策が施されていますので下記の注意を厳守してください。
1. プラスチックは、絶縁物ではなく導電性プラスチックです。修理時には十分注意を払い、活電部の露出・絶縁材の損傷がない様部品交換、修理を行ってください。
2. 必ず接地して使用してください。

3. 安全および取扱い上のご注意

この説明書では、注意事項を下記のように「警告」「注意」の2つに区分して表示しています。注意事項の内容をよく理解されてから本文をお読みください。

▲警告： 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

▲注意： 誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■注記： 説明中の工程で重要な手順や事項を示しています。

安全のため以下の注意事項を必ず守ってください。

▲警告

- 管理責任者の許可なく、経験や知識のない者 (子供を含む) が、本製品を使用しないように注意してください。
- 子供が本製品で遊ばないようにしてください。
- 清掃および使用者による保守を監督なしに子供に行わせしないでください。
- 使用しない時はこて部をこて台に置いてください。
- 電源コードが断線した場合は、危険を避けるため、メーカーもしくはサービス代理店、同等の資格がある人に交換してもらう必要があります。
- 電源を入れると、こて先の温度は高温に達します。取扱いを誤ると、やけど・火災の恐れがありますので注意してください。
- こて先周辺の金属部に触れないでください。
- 燃えやすいものの近くで使用しないでください。
- 周囲の人に「高温につき危険である」ことを知らせてください。
- 使用しない時や修理・清掃の前は電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください。

3. 安全および取扱い上のご注意 (つづき)

感電や故障等の恐れがありますので以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠ 注意

- 本製品を使用する前に、全ての説明をお読みください。
- はんだ付け以外の用途で使用しないでください。
- はんだかすを取るために、こて部を作業台に打ちつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- はんだ付けする際、煙が発生しますので、よく換気をしてください。
- 適用外のこて部を接続しないでください。本体が破損します。
- ステーションからこて部の接続コードを抜き差しする時は、電源を切った状態で行ってください。電源が入ったまま行うと基板が破損する可能性があります。
- 付属品 / 交換部品 / オプションは純正部品を使用してください。
- 本製品を改造しないでください。
- 損傷したコードやプラグを使用しないでください。誤動作や事故の原因になります。
- 落下またはその他の原因で破損した場合は、本製品を使用しないでください。
- コードの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- 本製品を濡らさないでください。また、濡れた手で使用しないでください。
- その他危険と思われる行為は行わないでください。

4. 使用方法

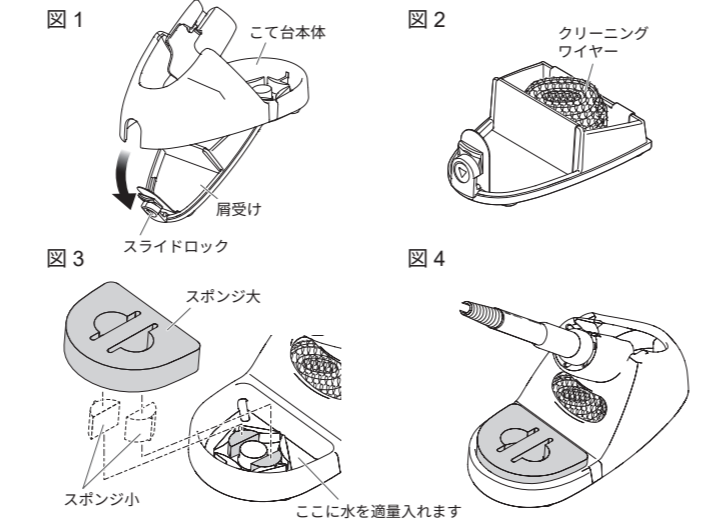
4-1. こて台

●準備

- (1) スライドロックを押しながら肩受けを外します。(図1)
- (2) 肩受けにクリーニングワイヤーを取めます。(図2)
- (3) 肩受けをこて台本体に装着します。
- (4) こて台本体の前側に水を適量入れます。スポンジ小が水を吸い、いつも湿った状態を保てます。(図3)
- (5) スポンジ大に水を含ませ、こて台に取めます。

■注記 クリーニングスポンジを乾燥したまま使用すると、スポンジだけでなく、こて先も傷みます。

- (6) こて台にこて部を取めます。(図4)



- こて先のクリーニング
クリーニングスポンジ
こて先をスポンジに軽くあてて酸化物を拭きます。
- クリーニングワイヤー
こて先をワイヤーの中へ抜き差しして、酸化物を取り除きます。

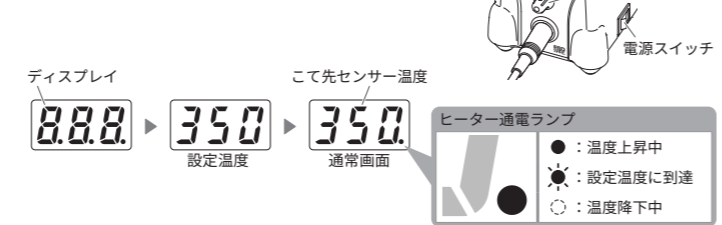


4-2. 操作方法

⚠ 注意

こて部をこて台に置いてから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

- (1) 電源を入れます。
- (2) ディスプレイが以下のように遷移します。
- (3) こて先温度が上昇します。
- (4) 設定温度 (工場出荷時: 350°C / 750°F) に到達します。



5s 通常モード / プリセットモード / アジャストモードの設定途中で5秒間放置すると通常画面に戻ります。

4. 使用方法 (つづき)

4-2. 操作方法 (つづき)

■ 設定温度の変更

通常モード (工場出荷時)

ツマミを回し、設定温度を変更します。
(工場出荷時の設定温度: 350°C / 750°F)

▼ 400°C に変更します。

●「パラメータ No. 14」で設定温度の変更を制限できます。

プリセットモード

このモードを使用する場合は、「パラメータ No. 11」を [PrE] に変更してください。よく使う設定温度を最大5コまで登録でき、その登録 No. を選ぶことで設定温度を変更します。

ツマミを回し、登録した設定温度のうち、いずれかを選択します。
(工場出荷時の設定温度: P1 250°C (600°F)、P2 300°C (700°F)、P3 350°C (750°F)、P4 400°C (800°F)、P5 450°C (850°F))

▼ P3 (工場出荷時) から P4 (400°C) に変更します。

●「パラメータ No. 14」で設定温度の変更を制限できます。
●「パラメータ No. 23」で各プリセット No. の登録温度を変更できます。

5. パラメータ設定

パラメータ設定画面

ツマミを押しながら電源を ON にすると、パラメータの変更モードに入ります。その後はツマミを操作し、パラメータを変更します。

値の変更

回す

値の確定

押す

確定の再確認

長押し

最終確定

押す

※設定途中で電源 OFF にすると変更内容が失われます。

パラメータ No.	パラメータ名 / 概要	設定値	工場出荷時の設定 (No. 25 を実施時の値)
01	表示温度単位 °C または °F のいずれかを選択します。 ●全ての設定値が変更した表示温度単位に変換されます。	°C / °F	(USA 向け: °F)
03	下限温度エラー はんだ付け作業時、こて先温度が下がったら [H-E] が表示され、点滅してお知らせする機能で、その時の下がり幅を設定します。	30 ~ 150°C 54 ~ 270°F	150 (°F: 270)
11	設定温度の変更: 通常モード [nor] / プリセットモード [PrE] プリセットモードを選ぶと、登録温度の選択個数が以下のように制限されます。 ・ [2P] ... P1 / P2 が選択可 ・ [3P] ... P1 / P2 / P3 が選択可 ・ [4P] ... P1 / P2 / P3 / P4 が選択可 ・ [5P] ... 5 コ全部が選択可 (工場出荷時)	nor / PrE	nor
14	パスワードロック AbCdEF の6文字を3桁で組み合わせたパスワードでロック範囲を選択します。 ・ [0] を選択 全てをロックしない ・ [1] を選択 一部をロックする ・ [1 1] を選択 設定温度の変更をロック ・ [2 1] を選択 プリセット No. の変更をロック ・ [3 1] を選択 こて先温度の補正 (アジャストモード) をロック ・ [2] を選択 全てをロックする	0 / 1 / 2	[1] (一部ロック) 選択時の手順 設定温度: 10 プリセット No.: 20 こて先温度の補正: 30 初期値: 全てをロックしない ツマミを回し、「1: ロックする」か「0: ロックしない」を選択します ツマミを押し、パスワードを入力します
23	プリセット温度: 各登録温度の変更 よく使う設定温度を5つ登録できます。 この機能で設定温度変更時の手順を省きます。 初期値: P1 250°C (600°F)、P2 300°C (700°F)、P3 350°C (750°F)、P4 400°C (800°F)、P5 450°C (850°F)	50 ~ 480°C 120 ~ 899°F	260°C に変更 P1 と同じ手順で、P2 ~ P5 の登録温度を設定します
25	イニシャルリセット 全ての設定を購入時の状態 (初期値) に戻ります。	°C / °F	°C 選択時
31	アジャストモード: 有効 [On] / 無効 [OFF] の設定 アジャストモードを有効 [On] にすると、こて先温度の補正が可能です。	On / OFF	(USA 向け: OFF)

■ 設定温度の確認

通常モード

1秒表示
押す 350 350
設定温度 通常画面

プリセットモード

0.5秒表示 0.5秒表示
押す P3 350 350
選択中のプリセット No. P3の登録温度 通常画面

■ こて先温度の補正 (アジャストモード)

こて先の劣化が原因で「設定温度」と「測定したこて先温度」に誤差が生じることがあります。このモードは「測定したこて先温度」をそのまま入力することで、その誤差を補正します。(こて先温度計が別途必要)

■注記 「パラメータ No. 31」でアジャストモードの有効 [On] / 無効 [OFF] を設定できます。

ツマミを長押し
ツマミを長押しし、こて先の温度を補正します。
(補正範囲: 設定温度 ±150°C / ±270°F)

▼ こて先の温度を補正します。(例: 設定温度 400°C / 実測値 395°C)

Adj 押す 400 回す 395 押す 400
設定温度 測定したこて先温度に変更 補正開始 通常画面

この状態で放置すると通常画面に戻ります

●こて先温度の補正は、こて先温度が安定してから行ってください。
●こて先を新品に変更したり、こて先の形状を変更したりしても、設定温度と実測値に誤差が生じます。実測したこて先温度に合わせ、こまめにこて先温度を補正してください。

⚠ お知らせ

- No. 14でパスワードを設定するとディスプレイに [---] が表示され、パラメータの設定画面へ遷移する前に、パスワードを要求されます。パスワードを2回続けて間違えると通常画面に戻ります。パスワードが分からなくなった場合は購入された販売店へご連絡ください。

通常画面の場合
350 8.8.8 ---
ここでパスワードを入力すれば、パラメータ設定画面へ遷移します。

規定の温度範囲で作業したい時に便利です。
設定温度 350°C で 320 ~ 350°C の間ではんだ付けしたい時は No. 03 の設定値を [30] に変更し、はんだ付け作業を開始してください。作業中にこて先センサー温度が 320°C 未満になった場合、[H-E] が表示され、点滅してお知らせします。上限は設定温度で制限します。

6. メンテナンス

⚠ 注意	
●	内部点検や部品交換の前に、電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
●	こて先の先端に付着した酸化物はやすりがけで除去しないでください。こて先の寿命を早めます。

メンテナンスを実施することで製品を長く、より良く使っていただけます。

■ 点検

● ヒーターの抵抗値を確認

- こて部のプラグをステーションから外します。
- こて接続コードのプラグの抵抗値を測定します。(図1)
 - ピン4-5間(ヒーター): 正常値 2.5~3.5Ω (室温時)
 - ピン1-2間(センサー): 正常値 41~58Ω (室温時)
- (2)の結果がどちらか一方でも異常な場合は、ヒーターの抵抗値を測定します。(図2)
 - ヒーター(赤): 正常値 2.5~3.5Ω (室温時)
 - センサー(青): 正常値 41~58Ω (室温時)
- (3)の結果が異常な場合は、ヒーターを交換します。
- (3)の結果が正常な場合は、本体(こて部を含む)を修理に出してください。

図1

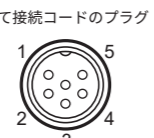
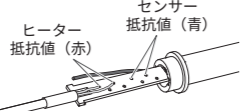


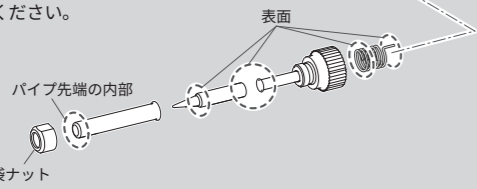
図2



● こて先アース間抵抗を確認

ピン3-こて先間: 正常値 <2Ω (図1)

使用による劣化(酸化物、フラックスの付着)のため、「こて先アース間抵抗」が高くなる場合があります。その場合は、下記の箇所をサンドペーパーで磨き、酸化物を除去してください。



注記 袋ナットが緩んでいてもこて先アース間抵抗は高くなります。

● ヒーターを交換した時は、再度(1)~(3)の抵抗値を測定してください。

■ 日常のメンテナンス

設定温度	必要以上に高い温度でのご使用は、こて先の劣化を早め、熱に弱い部品にダメージを与えることがあります。常に可能な限り低い温度で使用してください。
作業前	目視でこて先の状態を確認してください。変形していたり、消耗が激しかったりする場合は交換します。こて先に酸化物や古いはんだがある場合はクリーニングスポンジでぬぐい取ってください。基板上に不純物が混入するとはんだ付け不良の原因になります。
作業中	こて部を高温に設定したまま長時間放置せず、電源を OFF にします。こて先の酸化が緩和されることで作業性と寿命が向上します。
作業終了後	こて先をクリーニングスポンジできれいにぬぐってから新しいはんだで先端を覆ってください。こて先の酸化を防ぎます。

■ 定期的メンテナンス

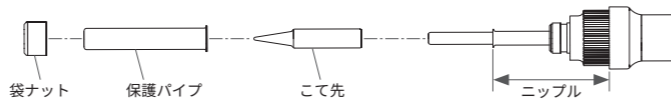
● こて先

使用する温度や、はんだ・フラックスの質・量によってこて先の消耗の度合いが異なります。使用状況に応じてメンテナンスを行ってください。

- 電源を ON にします。
- 温度を 250°C (482°F) に設定します。
- 温度が安定したらクリーニングスポンジでこて先をぬぐいます。
- はんだめっき部に黒い酸化物が付着している場合は、フラックス含有の新しいはんだを送り、クリーニングスポンジでぬぐいます。酸化物が除去できるまで繰り返し行います。その後、新しいはんだで覆います。

● こて部

袋ナット、保護パイプ、ニップルにフラックスや異物が付着している場合は、工業用アルコールでふき取ります。



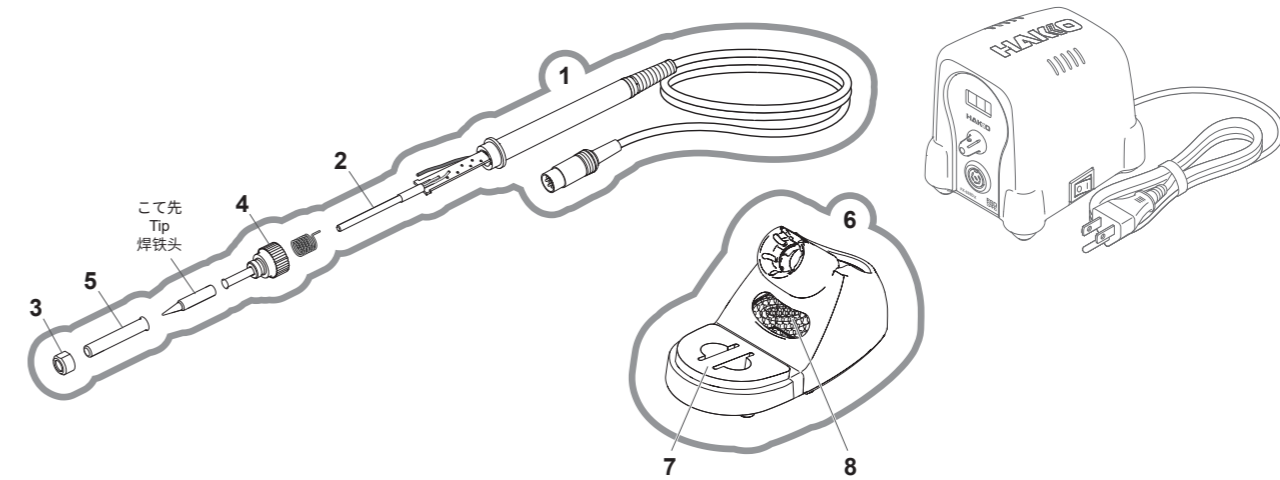
● こて台

- スライドロックを押しながら肩受けを外し、こて台にたまったはんだ肩を取り除いてください。
- クリーニングワイヤーがはんだ肩で目詰まりしてきたら、使っていない面を正面に向けて使ってください。



部品リスト / Parts List / 零件清单

図番 Item No. / 図号	品番 Part No. / 部品番号	部品名	Part Name	部件名称
1	FX8801-01	こて部 FX-8801 B型こて先付き	Soldering iron FX-8801 With B Tip	焊铁部 FX-8801 附带 B 型焊铁头
	FX8801-02	こて部 FX-8801 1.6D 型こて先付き USA 専用	Soldering iron FX-8801 With 1.6D Tip for USA	焊铁部 FX-8801 附带 1.6D 型焊铁头 美国用
2	A1560	ヒーター	Heating element	发热元件
3	B1785	袋ナット	Nut	螺帽
4	B2022	ニップル	Nipple	螺纹套头
5	B3469	保護パイプ	Tip enclosure	保护管
6	FH800-05SV	こて台 シルバー	Iron holder FH-800 SILVER	焊铁架 FH-800 银色
	FH800-03BY	こて台 ブルー・イエロー USA 専用	Iron holder FH-800 BLUE-YELLOW for USA	焊铁架 FH-800 蓝色・黄色 美国用
7	A1559	クリーニングスポンジ	Cleaning sponge	清洁海绵
8	A1561	クリーニングワイヤー	Cleaning wire	清洁丝



7. トラブルシューティング

⚠ 注意	
内部点検や部品交換の前に、電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。	

電源スイッチを入れても動作しない。	電源コードのプラグが外れていませんか? ▶ フラグをコンセントに差してください。それでも解消しない場合は、本体(こて部を含む)を修理に出してください。
[H-E] が表示される。	はんだ付け対象物に対してこて先の熱容量が小さすぎませんか? ▶ もっと熱容量の大きいこて先を使用してください。 下限設定温度エラーの設定値が小さすぎませんか? ▶ 設定値を大きくしてください。(「5. パラメータ設定」の「パラメータ No. 3」を参照)
ヒーターが切れていませんか?	ヒーターの抵抗値を測定してください。異常な場合はヒーターを交換します。(「6. メンテナンス」の「■ 点検」を参照) ▶ それでも解消しない場合は、本体(こて部を含む)を修理に出してください。
[S-E] が表示される。	こて部のプラグが外れていませんか? ▶ 電源スイッチを OFF にし、こて部を接続し直してください。その後、電源を ON にします。 センサーが切れていませんか? ▶ センサーの抵抗値を測定してください。異常な場合はヒーターを交換します。(「6. メンテナンス」の「■ 点検」を参照) ▶ それでも解消しない場合は、本体(こて部を含む)を修理に出してください。
[--] が表示される。	本体が故障しています。 ▶ 本体(こて部を含む)を修理に出してください。

こて先が熱くならない時がある。	ヒーター交換時のはんだ付けが不良になっていませんか? ▶ はんだ付け直ししてください。それでも解消しない場合は、本体(こて部を含む)を修理に出してください。
こて先にはんだがのらない。	こて先温度が高すぎる、または低すぎませんか? ▶ 適正温度に設定してください。 こて先に酸化物が付着していませんか? ▶ 酸化物を取り除いてください。(「6. メンテナンス」を参照)
こて先温度が高すぎる/低すぎる。	こて先温度を補正していますか? ▶ 温度を測定し、正しい値を入力してください。(「4-2. 操作方法」の「■ こて先温度の補正(アジャストモード)」を参照)

本書でご確認いただいた対処を行っても解決しない、またはその他問題点が発生した場合は購入された販売店へご連絡ください。



白光株式会社

<https://www.hakko.com>

〒556-0024 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号
TEL: (06) 6561-1574 (代) FAX: (06) 6568-0821

HAKKO CORPORATION

HEAD OFFICE

4-5, Shikusa 2-chome, Naniwa-ku, Osaka 556-0024 JAPAN
TEL: +81-6-6561-3225 FAX: +81-6-6561-8466
<https://www.hakko.com> E-mail: sales@hakko.com

OVERSEAS AFFILIATES

U.S.A.: AMERICAN HAKKO PRODUCTS, INC.
TEL: (661) 294-0090 FAX: (661) 294-0096
Toll Free (800) 88-HAKKO
<https://www.HakkoUSA.com> E-mail: Support@HakkoUSA.com

HONG KONG: HAKKO DEVELOPMENT CO., LTD.

TEL: 2811-5588 FAX: 2590-0217
<https://www.hakko.com.cn> E-mail: info@hakko.com.hk

SINGAPORE: HAKKO PRODUCTS PTE., LTD.

TEL: 6748-2277 FAX: 6744-0033
<https://www.hakko.com.sg> E-mail: sales@hakko.com.sg

Please access the code for overseas distributors.

https://www.hakko.com/doc_network



© 2023-2024 HAKKO Corporation. All Rights Reserved.